

愛知県感染症情報

平成 11 年第 30 週（7 月第 4 週）

（コメント）

ヘルパンギーナの報告数は、定点あたり 6.4 人（684 人 / 112 定点）
でした。

（先生方からのコメント）

- ・ 43 才女性 キャンピロバクター
（岡崎市 医療法人川島小児科水野医院）
- ・ 6 か月児 サルモネラ 0-4 群
（幸田町 とみた小児科）
- ・ 2 才男 キャンピロバクター
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ サルモネラ 3 例（07、04）
キャンピロバクター 4 例
細菌性腸炎増加
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 感染性胃腸炎中 EPEC 1 才 4 ヶ月男子 0124、4 才 4 ヶ月男子
018、35 才男子 01、12 才男子 01、29 才女子 0153、
5 才女子 0126 病原性大腸菌検出者 計 6 名
糞便アデノウイルス抗原陽性者 13 才女子、5 才女子、17 才女子、
2 才女子、4 才女子、1 才 2 ヶ月男子、3 才男子、1 才男子 計 8 名
（尾西市 城後小児科）
- ・ 1 才男子 サルモネラ 0-9
1 才女子 保育園でサルモネラの検出された子が 2～3 人あるようで本
児も疑わしいと思われました。
先週の患者で 6 才男子からサルモネラ 0-9 陽性でした。
（一宮市 あさのこどもクリニック）

- ・ 手足口病は少ない
ヘルパンギーナが多い
水痘小流行
(一宮市 後藤小児科医院)
- ・ 手足口病は減少したように思われますが、ヘルパンギーナは流行続けております。
水痘、突発性発疹症が目立ちました。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 3才女、カンピロバクター腸炎。
ヘルパンギーナと手足口病が多く見られます。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 60歳ムンプス孫から感染
(津島市 田中こどもクリニック)
- ・ カンピロバクター腸炎(6歳女児)1例ありました。
(立田村 谷本医院)
- ・ 手足口病が引き続き目立ちます。
(刈谷市 永井小児クリニック)
- ・ 感染性胃腸炎4歳男 カンピロバクタ(+)
(知立市 近藤こどもクリニック)
- ・ 前週減少した手足口病が再び増加しました。兄弟例が多く見られます。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ ヘルパンギーナ多し
頭痛を伴う夏カゼ散発
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ ヘルペス口内炎 1才男児
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ A群溶血性レンサ球菌による伝染性の膿痂疹が連日見られます。
(東海市 東海市民病院)
- ・ 27才女性 サルモネラ菌検出されました。
58才の女性 病原大腸菌 EPEC(018)検出されました。
(春日町 丹羽医院)
- ・ 時に伝染性単核球症の児がおり、肝障害を起した症例が1例ありました。
3才男児、溶連菌感染症で熱性けいれんがありました。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

- ・ 5才帯状症例あり。
（豊橋市 富田小児科）
- ・ 非淋菌性・非クラミジア尿道炎 20代 1例、50代 1例
（豊橋市 成田記念病院）

（1～3類感染症の発生状況）

腸管出血性大腸菌感染症患者 2名。

豊田市保健所管内在住の 16才女性。7/19 発病、7/21 初診、7/28 診定。

菌型は、0157、VT2(+)。

瀬戸保健所管内在住の 26才男性。7/28 発病、7/29 初診、7/30 診定。

菌型は、0157 毒素産生陽性。

腸管出血性大腸菌感染症病原体保有者 1名。

岡崎保健所管内在住の 46才女性。7/27 初診、7/27 診定。

菌型は、0157、VT2(+)。

腸チフス患者 1名。

岡崎保健所管内在住の 21才女性。7/22 初診、7/27 診定。

菌型は、09。

（全数把握の4類感染症の発生状況）

急性ウイルス性肝炎患者 4名。

アメーバ赤痢患者 1名。

梅毒患者 1名。